

早稲田大学 社会科学部 数学 講評

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	確率	2次関数と直線が囲んだ面積に関する出題。1/6 公式を用いる典型問題。(2)から(3)は同じ内容がしつこく続くのでミスが怖い。例えば $1/6(\beta - \alpha)^3$ の係数に a をつけ忘れるなど。	標準
2	整数	(3)は典型問題であるので見たことがある受験生も多かっただろう。(1)で因数分解できることに気づけるか(トライできるか)は意外にハードルが高く最初からつまづいた受験生も多いかもしれない。	標準
3	高次方程式	3次方程式の解の公式(カルダノの公式)に関する出題。(1)は類題経験がないと厳しいかもしれない。	標準

〔総合コメント〕

今年はず年より若干難しくなっていた。計算量は同じであった。問1で完答できるかが大事であるが文字が多くミスをしやすい。問2の(1)ができれば(2)もできたであろう。(2)でかけて4になる組み合わせとして、-と-と+の組み合わせを忘れやすい。問3は類題経験があるかないかで決まるので差が付きやすい。